

2018年10月

「PHR 推奨設定」の策定の目的

日本糖尿病学会
日本高血圧学会
日本動脈硬化学会
日本腎臓学会
日本臨床検査医学会
日本医療情報学会

●代表的な生活習慣病である4疾患（糖尿病、高血圧、脂質異常症、慢性腎臓病（CKD））についての各診療ガイドラインを主として策定している4学会（日本糖尿病学会、日本高血圧学会、日本動脈硬化学会、日本腎臓学会）、および検体検査の測定法やデータの標準化に関連する日本臨床検査医学会、医療情報全体の標準化や活用を推進する日本医療情報学会の計6学会によって、どのような目的のデータベース項目構築の際でも採用すべき「生活習慣病コア項目セット集」、およびそのユースケースとしての「生活習慣病自己管理項目セット集」の策定が2011年に始まり、初版が2014年に公開されている。

●Personal Health Record(以下 PHR)は事業者毎に収集・管理される検査項目等が標準化されていなければ、PHR 事業者同士の相互運用性が確保されず、事業者を変更した場合等のデータの継続性が危ぶまれ、また2次利用も困難となる。

そこで、PHRの標準項目を想定して6臨床学会で策定した「生活習慣病自己管理項目セット集」を基に、個人の自己健康/疾患管理に用いるPHRの仕組みに実装するための参考指標作りを改めて上記6臨床学会で行うこととなり、2016年より検討を進めてきた。その結果、各生活習慣病の診療ガイドラインにおける内容をベースに策定した当参考指標集を「PHR 推奨設定」と名付け、この度、第1版として公開することとした。

●「PHR 推奨設定」では、各診療ガイドライン等を参考に、生活習慣病の未発症者および発症者のそれぞれにおいて、生活習慣病自己管理項目セットのPHR 推奨設定を策定した。具体的には、各検査項目等につき、(1)4段階のリスク分類の閾値の設定、(2)固定アラート閾値の設定、(3)前回値からの差異によるアラート閾値の設定、(4)検査時期のリマインダ設定、(5)入力ミス防止閾値設定である。

●当「PHR 推奨設定」はスマートフォンやPCで利用するPHRシステムに実装し、個人/患者、保険者、医療者等の関係者が生活習慣病の予防・管理に利用することを念頭に策定を行

った。

なお、当「PHR 推奨設定」は、あくまで PHR システムの利用における参考指標集の 1 つであり、個々の患者の治療目標や治療手段の最終判断は、容態、病態等に応じて、直接の担当医の判断・指示のもとに行うものであることを PHR 利用者に伝えることが必要である。

●今回の「PHR 推奨設定」の検討の際に、最新の診療ガイドライン等をふまえて検討した結果、生活習慣病ミニマム項目セットの改訂も行うこととなった。具体的には、コア項目として、「LDL コレステロール」を追加し、一方、「総コレステロール」を削除し、生活習慣病コア項目セット第 2 版とした。生活習慣病自己管理項目セットには LDL コレステロールが追加され、総コレステロールを残したため 40 項目から 41 項目に増えた（第 2 版）とした。

●なお、これらの内容は医療技術・検査技術の動向や各種指針等により、今後、改訂される可能性があることに留意されたい。また、当「PHR 推奨設定」の利用において生じたあらゆる損害・障害について、いかなる場合も当関連学会および作成者は一切の責任を負わないものとします。

以上